

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/05/29		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587051701	科目番号 / Subject code	05870517
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	脳と心 (脳科学から探る人間性)COC+ / Exploring Humanity in the Light of Brain Science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	森 望 / Mori Nozomu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	森 望 / Mori Nozomu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	森 望 / Mori Nozomu		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Target students	医歯工環 2年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	morinosm nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	医学部・神経形態(第一解剖)		
担当教員TEL/Tel	095-819-7017 直通 095-819-7019 受付		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 17:00~19:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	このモジュールでは脳科学の視点から人間性というものを考え、理解することをめざします。大学を出れば社会人になる。それは自動的に大人になる、ということなのだろうか？たぶんそうではないでしょう。そもそも「大人」とは、「人間」とは何なのか？その元にあるのは人間性でしょう。「人間性」はどこにあるのか？それは大人として成長する脳の中に育まれるものです。「脳」を理解し「人間性」の育みをしっかりと意識して生きる必要があります。では「意識」とは何か？それを意識することも大事です。人間の脳は地球上での生命の進化史上、最大の進化産物です。そこから「知性」が生まれた。でもそれはもう単なる知性ではない。「社会性」「精神性」をも育む組織器官。そして自分なりの「視座・ビジョン」を生み出す器官でもあります。「脳」はある意味では単なるニューロンの塊という物質なのですが、そのような物質の塊から「心」が生まれる。脳によって世界を見、心をもって人に接する。この講義は「ブレイン・ビジョン・マインド」のモジュール教育の基礎となる「ブレイン」を学びます。ブレインを理解し、ビジョンを獲得し、マインドを育む。人間性の根源を脳科学から考えていきます。 (本講義では基本的に「脳からの心の派生」を議論する場だが、『長崎県の話』にも配慮するようにとのことなので、長崎の明治古写真についても講義する。特に、写真師の思い(心)を推察しつつ、撮影者未詳の写真のナゾを解き明かす。参考図書最後に挙げてある本『明治の長崎撮影紀行』(長崎文献社)を教科書とする。)		
授業到達目標/Course goals	しっかりと物事を見ることが大事です。自分なりの視点があることも大切です。昨今はよくコミュニケーション能力の必要性が強調されますが、それ以前にしっかりとした自分がなければなりません。口先だけ雄弁でも、中身がなければ価値がないのです。自己意識をしっかりとつとめて、自分とはいったい何なのか？人間とは何か？自分と他者はどう違うのか？同じなのか？人間を理解するためには、まず脳を理解することが重要です。脳科学の視点から自分を考える、他人を思いやる。そして、また一歩深く自分を理解する。大人への階段を登る。そのためには、脳を掘り下げて考えてみるのが大事です。脳を理解し、自分を理解し、人間性とはいったい何なのか、深く考えてゆきます。「未来の自分をつつめる視座がはっきりとしてくる」そうしたらゴールはもうすぐそこです。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	期末試験を重視するが、レポート、授業への参加姿勢を総合評価する		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義予定表に従って、予習復習を心がけ、毎回の内容をノート見開き2ページに総括しておくこと。
キーワード/Key word	脳、心、人間性、脳科学、神経科学 ブレイン、マインド、ヒューマニティー、ブレインサイエンス、ニューロサイエンス 長崎県
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	ブレインブック THE BRAIN BOOK みえる脳 養老孟司(監修)(南江堂)(2012) 心を生みだす脳のシステム:「私」というミステリー 茂木健一郎(NHKブックス 931)(2001) 唯脳論 養老孟司(ちくま学芸文庫)(1998) 人間であること 時実利彦(岩波新書746)(1970) サイエンティストになるには 生田哲(ペリかん社/なるにはブックス77)(1994) 明治の長崎撮影紀行 森望(長崎文献社)(2014)
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回/4/10	序論:ここはハートかマインドか?
2回/4/10	ヒト:人間になること、人間であること
3回/4/17	生命:生きるということ、いのちの意味
4回/4/17	進化:物質進化と生命、人間の進化と心の進化
5回/4/24	脳:悩ましい脳、こころを育む脳
6回/4/24	意識:サブリミナルマインド、意識と無意識の間
7回/5/1	言語:言語と脳情報、文字、文章、文化、文明
8回/5/1	発達、成熟、老化:幼児期の脳(心の理論)、思春期の脳(自己と他者)、大人の脳(社会脳)、老人の脳(円熟と崩壊)
9回/5/8	感性:喜怒哀楽とこころ、感動と共感
10回/5/8	知性:知・情・意、脳と想像
11回/5/15	創造:真・善・美、脳と創造性
12回/5/15	人間性:真・信・心、人間らしくあること
13回/5/22	「明治の長崎撮影紀行」(1)長崎古写真解剖学
14回/5/22	「明治の長崎撮影紀行」(2)写真師のこころを探る

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/02/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587051901	科目番号 / Subject code	05870519
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 15371_005		
授業科目名 / Subject	脳と心 (映画から学ぶライフサイクルとメンタルヘルス) / What Movies Can Teach Us about Life Cycle and Mental Health		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小澤 寛樹 / Ozawa Hiroki, 森 望 / Mori Nozomu, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 松坂 雄亮 / Matsuzaka Yusuke, 野畑 宏之 / Nobata Hiroyuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小澤 寛樹 / Ozawa Hiroki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小澤 寛樹 / Ozawa Hiroki, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 松坂 雄亮 / Matsuzaka Yusuke, 野畑 宏之 / Nobata Hiroyuki		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Target students	工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Instructor office	医学部 精神神経科		
担当教員TEL/Tel	095-819-7293		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月水木12-13時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	自分を取り巻くライフサイクルとメンタルヘルスの実状をまづきちんと把握し、受講者がこれからの経済活動や現代の市民としての生活などで役に立つ知識を習得してもらうことを目標としたい。		
授業到達目標 / Course goals	毎回のテーマは生活の中で起きうる具体的な問題であり、心理学・精神医学(必要であれば、人文科学・社会科学の知識)を通して、自分で的確に把握できるようになる。そして得られた知識を、まだ知らない人に対しても正しくプレゼンテーション可能なようになることを通じて、社会に貢献できる"新しい人"(大江健三郎)になるためのメンタル・リテラシーを身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	講義後に提出するレポート : 50% 講義中のディスカッションへの参加態度 (意欲点) : 50%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	精神医学、精神疾患、メンタルヘルス、アンチスティグマ		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	「シネマサイキアトリー映画からみる精神医学」(小澤寛樹監訳、中外医学社) 「標準精神医学・第5版」(野村総一郎他編、医学書院)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	本シラバスは今後変更される可能性があるため、受講予定者は履修登録時に再度本シラバスの内容を確認し、受講の有無を決定すること。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	自分に関係ないと思いがちな心の病気・・・。実は誰にでもなりうる可能性がある、身近なものなのです。この授業では、そんな心の病気に触れた映画を視聴し、メンタルヘルスについて学んでいきます。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回目	身近な人がうつになった時の対処法 (作品: ツレがうつになりました)
第2回目	私たちの持つ記憶の本体とは何か (作品: メメント)
第3回目	認知症の基礎知識 (作品: ふるさと)
第4回目	人生の終末期を迎える人の心について考える (作品: おくりびと・余命3ヶ月の花嫁)
第5回目	アップダウンの激しい人たち ?双極性障害の話?(作品: 心のままに)
第6回目	統合失調症の実際 (作品: ビューティフル・マインド)
第7回目	誰かが君に恋してる ?恋愛現象の脳科学? (作品: いま、会いに行きます)
第8回目	まとめ

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2018/06/05 ~ 2018/08/06		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587052101	科目番号 / Subject code	05870521
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	脳と心 (視覚の発生、ロービジョンケア) / Visual Science and Low - Vision Care		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	北岡 隆 / Kitaoka Takashi, 森 望 / Mori Nozomu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	北岡 隆 / Kitaoka Takashi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	北岡 隆 / Kitaoka Takashi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Target students	医歯工環 2年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tkitaoka nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	医歯薬学総合研究科眼科・視覚科学分野		
担当教員TEL/Tel	北岡隆、隈上武志、上松聖典、築城英子、松本牧子、木下博文		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 17:00-19:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	外界からの情報の80%以上は視覚を通して認識される。その重要な視覚を司る眼球の構造を理解し、視覚を脅かす代表的な疾患について学ぶ。さらに標準的な色覚とそのバリエーションについて理解し、ロービジョンケアの初歩を実践する。さらにアイバンク、盲学校についても学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	視覚を司る眼の構造の概略を説明できる。代表的な眼の病気について理解している。色覚の発生が説明でき、色覚のダイバーシティについて理解できる。ロービジョンケアの初歩を実践できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	出席とレポートにより評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	初回は目が見えなくなったらどんな事に困るか考えてくること。2回目以降はグループ学習発表のため、次回の予習、復習の方法を提示する。		
キーワード/Key word	視覚、アイバンク、ロービジョンケア、色覚		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書はない。講義資料を配付すると共に、インターネットを利用した自主学習を促す。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	外界の情報のほとんどを得る手段である視覚の重要性について学び、視覚、色覚等の多様性を理解してほしい。またロービジョンのヒトに対するケアに積極的に関わってほしい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回 6/11 3時限目	視覚を司る眼球の構造?その1?		
2回 6/11 4時限目	視覚を司る眼球の構造?その2?		

3回 6/18 3時限目	眼のはじまり
4回 6/18 4時限目	いろいろな動物の眼
5回 6/25 3時限目	角膜はどうして透明なのか？コンタクトレンズは使って良いの？
6回 6/25 4時限目	アイバンクって何？ 角膜移植とは？
7回 7/2 3時限目	近視、遠視、乱視とは？近視は老眼になりにくい？ 近視の矯正にレーザーを使ったり、手術をしたりして良いの？
8回 7/2 4時限目	水晶体の働き
9回 7/9 3時限目	水晶体の代わりに人工のレンズを入れられるのか？ 眼の中に入っている水は何？
10回 7/9 4時限目	眼の硬さはどうなっている？
11回 7/23 3時限目	高血圧と眼の関係は？
12回 7/23 4時限目	糖尿病と眼の関係は？ 眼の病気に治療するときどんな治療があるの？点眼？注射？
13回 7/30 3時限目	色覚の話とその異常
14回 7/30 4時限目	ロービジョンケア
15回 8/6 3時限目	眼球と視覚の発達、盲学校について